



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド
(愛称:食の未来)

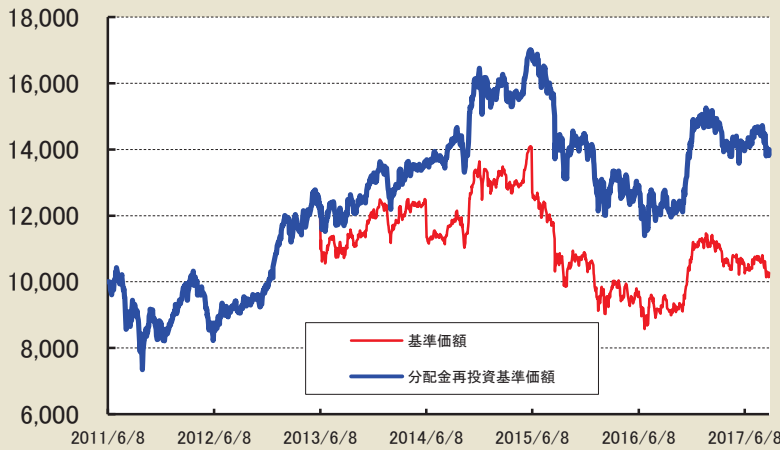
設定日 2011年6月9日 決算日 原則 6月8日

追加型投信/内外/株式

2017年8月31日現在

基準価額の推移(2011年6月9日 ~ 2017年8月31日)

(設定日前日を10,000としております)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配落後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

8月末	前月比	7月末
10,277 円	▲3.5 %	10,655 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

1カ月	▲3.5 %
3カ月	▲1.1 %
6カ月	▲3.9 %
1年	11.0 %
3年	▲0.6 %
5年	54.4 %
設定来	40.0 %

資産構成

内訳	8月末	7月末
ブラックロック・グローバル・ファンズ -ワールド・アグリカルチャー・ファンド- クラスX	97.2 %	97.2 %
日本短期公社債マザーファンド	0.8 %	0.8 %
その他資産	2.0 %	2.0 %
純資産	629 百万円	662 百万円
元本	612 百万円	621 百万円

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

2017年6月	250 円
2016年6月	0 円
2015年6月	1,300 円
2014年6月	1,200 円
2013年6月	1,000 円
2012年6月	0 円
設定来合計	3,750 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

このページは、「ブラックロック・ジャパン株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

2017年8月31日現在

ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの内容 (2017年8月31日現在)

資産構成比率

内訳	8月末
外国株式等	98.9 %
その他資産	1.1 %
合計	100.0 %

- ・日付は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの基準価額算出日です。
- ・比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・各比率は、ブラックロック・ジャパン株式会社作成の数値をもとに記載しております。

ファンドマネージャーのコメント

あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

運用経過

8月の農業関連企業の株式は下落しました。良好な決算を発表した銘柄を中心に月初は堅調に推移しました。しかし、米国と北朝鮮間の緊張の高まりや穀物価格の下落、白人至上主義者のデモに関するトランプ大統領の発言をきっかけとした米国の政情不安などを受けて、中旬から下旬にかけては軟調な展開となりました。その後、米国の税制改革の進展期待や良好な米国経済指標の発表などを好感し、月末にかけて下げ幅を縮めました。

穀物市場では小麦やとうもろこし、大豆価格が大きく下落しました。米国農務省が発表した穀物の需給環境見通しにおいて、とうもろこしや大豆の収穫量の見通しが市場予想を上回ったことが嫌気されました。

個別銘柄では、米国の畜産大手ピルグリムズ・プライドは良好な決算や堅調な鶏肉価格を背景に大きく上昇しました。ブラジルの畜産大手BRFも鶏肉事業の収益改善や加工食品事業の市場シェア拡大により上昇しました。

こうした環境のなか、当ファンドでは買収した米国の加工食品大手アドバンスピエール・フーズとの相乗効果により、収益の改善が期待される米国の畜産大手タイソン・フーズなどの組み入れを増やしました。また、収益率の改善や事業の多角化を見込み、米国でバイオ燃料などを生産するグリーン・プレインズを新たに買い付けました。一方で、株価水準などを鑑み、ピルグリムズ・プライドや米国の農機具大手タイタン・マシナリーなどを売却しました。

今後の運用方針

今後穀物価格の下落は一服し、農機具や肥料に対する需要が徐々に高まると見えています。その為、当ファンドでは農機具や肥料の中でも需給環境が良好な状況にある窒素を手がける銘柄の組み入れを高めています。また、M&A(合併・買収)によって収益の拡大が見込まれる農業科学セクターの組み入れを増やしています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



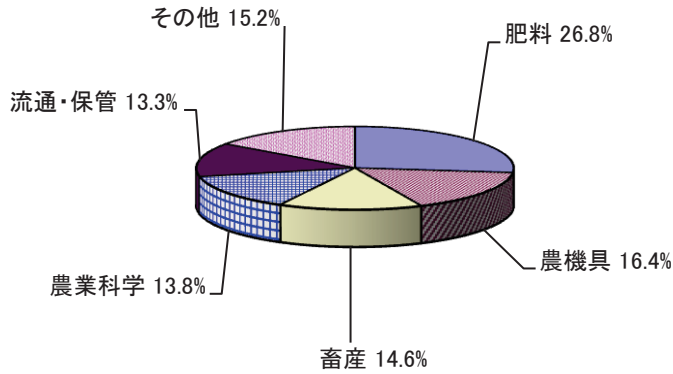
みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

このページは、「ブラックロック・ジャパン株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

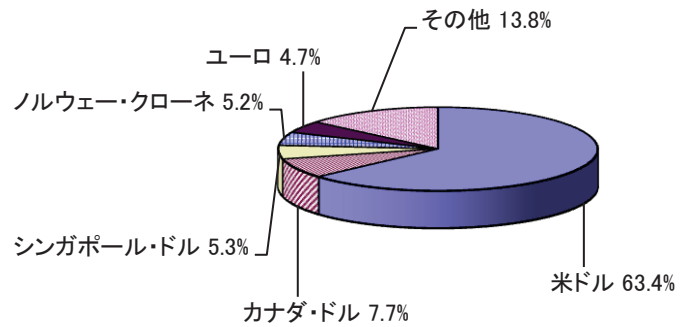
2017年8月31日現在

ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの内容(2017年8月31日現在)

セクター別比率



通貨別比率



外国株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

順位	銘柄名	セクター名	国・地域名	比率
1	モンサント	農業科学	アメリカ	9.8%
2	ディアー	農機具	アメリカ	8.8%
3	タイソン・フーズ	畜産	アメリカ	8.1%
4	アグリウム	肥料	カナダ	7.7%
5	ウィルマー・インターナショナル	食品加工	シンガポール	5.2%
6	ヤラ・インターナショナル	肥料	ノルウェー	5.1%
7	ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワン	肥料	カナダ	5.0%
8	アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	流通・保管	アメリカ	4.9%
9	CFインダストリーズ・ホールディングス	肥料	アメリカ	4.9%
10	バンジ	流通・保管	アメリカ	4.6%
株式等組入銘柄数		32銘柄	10銘柄組入比率合計	64.0%

- ・日付は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの基準価額算出日です。
- ・セクター名、国・地域名は、ブラックロック・ジャパン株式会社の分類方法に基づいて記載しております。
- ・銘柄名、比率は、ブラックロック・ジャパン株式会社作成のデータを記載しております。
- ・比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・セクター別比率および通貨別比率のその他には現金等も含まれます。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

当ファンドは、主として外国籍の投資信託証券を通じて、世界各国の株式に投資します。実質的に組み入れた株式の値動き、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

1. 主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。

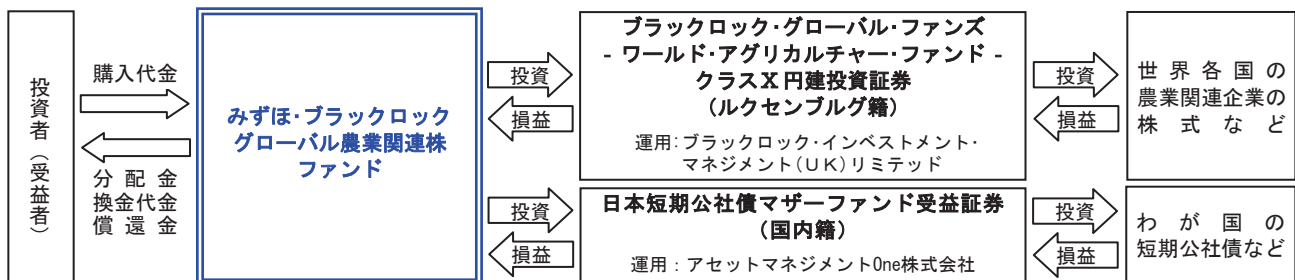
◆農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。

2. ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

◆ルクセンブルグ籍外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ - ワールド・アグリカルチャー・ファンド - クラスX」(以下「アグリ・ファンド」という場合があります。)円建投資証券と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券に投資を行います。

※アグリ・ファンドの運用は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

※日本短期公社債マザーファンドの運用は、アセットマネジメントOne株式会社が行います。



◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、アグリ・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

◆外貨建資産(投資信託証券への投資を通じて間接的に保有するものを含みます。)については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。

◆アグリ・ファンドへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。

ブラックロック

・「ブラックロック」は、運用資産総額で世界最大級の独立系運用会社であるブラックロック・インクおよびグループ会社の総称です。

・ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドは、「ブラックロック」の英国拠点です。ブラックロック・ジャパン株式会社は、「ブラックロック」の日本拠点です。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

3. 原則として、年1回(毎年6月8日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

主な投資リスクと費用 (くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 一般に新興国市場は、先進国市場に比べて規模が小さく、流動性も低く、金融インフラが未発達であり、様々な地政学的問題を抱えていることから、カントリーリスクはより高くなる可能性があります。
株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の業種への投資リスク	当ファンドは、実質的に特定の産業(テーマ)に属する企業へ重点的に投資するため、幅広い業種や銘柄に分散投資を行うファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資法人を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。
信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる場合があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

◆収益分配金に関する留意事項◆

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時まで販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ルクセンブルクの銀行の休業日・ニューヨーク証券取引所の休業日・12月24日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みを取り消す場合があります。
信託期間	2021年6月8日まで(2011年6月9日設定)
繰上償還	当ファンドが主要投資対象とするアグリ・ファンドが償還した場合または以下に掲げる事項の変更により商品の同一性が失われた場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)させます。 ・アグリ・ファンドの主要投資対象が変更となる場合 ・アグリ・ファンドの取得の条件または換金の条件について、投資者に著しく不利となる変更がある場合 次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権の総口数が30億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年6月8日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。
●投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	・実質的な負担:ファンドの日々の純資産総額に対して最大で 年率1.9354%(税抜1.795%)程度 ※上記はアグリ・ファンドを100%組入れた場合の数値です。実際の運用管理費用(信託報酬)は、投資信託証券の組入状況に応じて変動します。 ・当ファンド:ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.8954%(税抜1.755%) ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※信託報酬には、アグリ・ファンドへの投資の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(ブラックロック・ジャパン株式会社)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.775%(税抜))が含まれます。 ・投資対象とする外国投資証券:アグリ・ファンドの純資産総額に対して年率0.040%(上限) ※アグリ・ファンドの投資運用会社への報酬等は、上記アグリ・ファンドの信託報酬等には含まれず、ファンドの投資顧問会社が受ける報酬の中から支払われます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入・有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料・信託事務の処理に要する諸費用・外国での資産の保管等に要する費用・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用等 監査費用は毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 ※投資対象とするアグリ・ファンドにおいては、有価証券等の売買手数料、保管受託銀行への報酬等がかかります。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
[ファンドの運用の指図を行う者]
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行う者]
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>ブラックロック・ジャパン株式会社
[運用指図に関する権限の委託を受け、
アグリ・ファンドへの投資の指図を行います。]

◆委託会社の照会先 ◆

- アセットマネジメントOne株式会社
コールセンター 0120-104-694
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

**みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド**
(愛称:食の未来)

販売会社一覧(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	日本証券業協会
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)